

令和6年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	災害への備えを学習しよう
2	実施社会福祉協議会	小鹿野町社会福祉協議会
3	協力団体	日本赤十字社埼玉県支部 小鹿野町赤十字奉仕団
4	活動年月日	令和6年8月5日
5	活動場所	小鹿野町けんこう交流館
6	内容	カードを使った避難所疑似体験

7 活動の様子

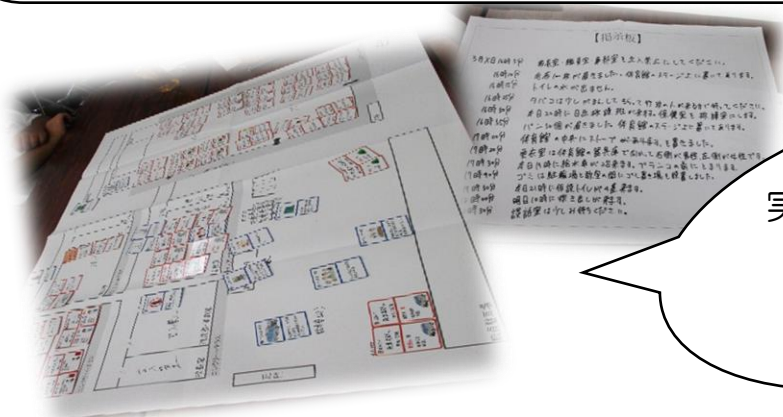
《実施目的》

小鹿野町は災害が少なく、避難所が開設されることがほとんどないため、避難者や避難所に見立てた平面図を利用するカードゲームを通して、避難所で起こる様々な出来事を疑似体験し、必要な知識等を学ぶこと。



【参加者の感想】

もし災害が起きたときに、避難所で自分以外の人へのサポートや気遣いなどどのように対応したら良いかが学べた。避難者は多種多様で、色々な対応をしなければいけないという事がわかりました。中学生のうちに体験できた事がよかったです。



実際に使った平面図と

掲示板

令和6年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	エコ活動体験
2	実施社会福祉協議会	小鹿野町社会福祉協議会
3	協力団体	
4	活動年月日	令和6年8月22日
5	活動場所	小鹿野町けんこう交流館
6	内容	新聞紙を使ってのエコバッグ作りなど

7 活動の様子

《実施目的》

世界中で話題になっている環境問題について、中学生でもできる身近なことから資源を大切にできるという事を学び、新聞紙を使ってのエコバッグやスリッパ作り また、食器の代用品になるものを新聞紙で作成し、非常食を知ってもらうためにアルファ米の試食を体験してもらう。



試食したアルファ米



出来上がったエコバッグとスリッパ

【参加者の感想】

エコ活動といってもよくわからなかったけど、買い物した時にエコバッグを使うことや、ごみの分別、お風呂のシャワーをこまめに止めて使う事など普段自分たちがやっていることがエコ活動の一つなんだということがわかりました。買い物をするのも、エコマークやグリーンマークなど環境ラベルがついているものを買うといいという事を家族に教えてあげたいです。また新聞紙でエコバッグやスリッパ、食器が簡単に作れてしまうので、すごいと思いました。

令和6年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	ボッチャを体験しよう
2	実施社会福祉協議会	小鹿野町社会福祉協議会
3	協力団体	
4	活動年月日	令和6年8月1日、8月19日
5	活動場所	小鹿野町けんこう交流館
6	内容	パラリンピックの正式種目のボッチャを体験する

7 活動の様子

《実施目的》

ボッチャは年齢・性別・障害のあるなしにかかわらず、すべての人が一緒に競い合えるスポーツとして、パラリンピックの正式種目にもなっている競技なので、この機会に体験してもらいたい。



お手玉サロンに来ていた方と一緒に楽しみました

車いすに乗ったまま投げると思ったように投げられず、枠の外に出てしまう子が多かった。「むずかしい〜」と言いながら楽しんでいました。



【参加者の感想】

ボッチャを始めてやり、難しいかなと思ったけど思ったより簡単で楽しかったけど、勝敗が最後までわからないスポーツだと思いました。年配の方とも一緒にできて、年齢に関係なくみんなで楽しめるスポーツだと思いました。車いすに乗って実際にボールを投げてみたら、思うように投げられなくて、ボールを投げる時にはひざを使っていることがわかりました。また参加したいです。

令和6年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	郷土料理体験
2	実施社会福祉協議会	小鹿野町社会福祉協議会
3	協力団体	一般町民（小鹿野町赤十字奉仕団員）
4	活動年月日	令和6年8月27日
5	活動場所	小鹿野町般若の丘・いきいき館
6	内容	郷土料理手打ちうどんの体験

7 活動の様子

《実施目的》

埼玉県は稲作の裏作として小麦の栽培が広く行われた「うどん文化」のある土地。核家族が多くなっている今に手打ちうどんの周知を広め、継承に繋がること。また、地元で取れる野菜を使って郷土食である「冷やし汁」も紹介し試食してもらう。



粉と水をよく混ぜて
ひとまとめにします



出来上がり
(冷やし汁と共に)



のばした生地を三つ折りに
して、麺の幅に切ります



たっぷりの湯で好みの固さ
になるまで茹でます



足でよく踏みます



【参加者の感想】

うどんを作るのはとても手間がかかるけど、その分美味しくできるということを知ることができました。小麦粉の種類を知れたり、うどんを切る幅で食べる感じが変わるとい事を教えてもらいました。自分で一から作ったうどんはとても美味しかったです。